

宗谷管内

北海道稚内養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒098-6642 稚内市声間5丁目23番7号
- 問 合 せ 先 TEL 0162-26-2292
FAX 0162-26-2293
E-mail wakkanaiyougo-z1@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.wakkanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「人々とかかわりながら、社会で役割を担う元気な人を育てる」
- 重点目標
児童生徒の笑顔が増える「学び」と「地域」と「対話」
～社会で生きる力を身に付けるために～



- 概 要
本校は昭和52年に小学部、中学部を設置した特別支援学校として開校し、平成10年に高等部が設置されました。知的障がいを有する生徒のほか、他の障がいを併せ有する生徒も在籍しています。障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域の教育資源を活用した学習を行うなど、卒業後の自立と社会参加を目指した教育を行っています。寄宿舎では将来の生活を見据え、生活年齢や障がいの状況を考慮した指導を行い、基本的な生活習慣や社会性の定着を図っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- (1) 社会生活に必要な知識、技能、態度を身に付け、自分の可能性を伸ばせる生徒
- (2) 地域の中で自分の力を発揮し、主体的に判断し行動できる生徒
- (3) 自分らしさを発揮しながら仕事や余暇活動に、積極的に取り組める生徒

【 作業学習 】

縦割りのグループを編制して、上級生が下級生に取り組み方を教えるなど、生徒同士が互いに協力し、学び合う場面を大切にしています。特設作業として、地元企業からの委託作業（ペットボトル砂詰め）や、地域の方々と地元の特産である勇知いも栽培などに取り組んでいます。

【 稚内養護学校☆高等部フェスタ 】

保護者や地域の方に日常の学習の成果を発表する場として、「稚内養護学校☆高等部フェスタ」を行っています。作業学習で取り組んだ木工製品や巾着袋などの縫工製品の販売を行います。

【 総合的な探究の時間 】

進路や交流及び共同学習に関わる体験的な活動の機会を設けています。進路に関わる学習では、年2回職場実習を実施しています。実際の職場で、働くことへの意識を高め、必要な作業能力やコミュニケーション能力を身に付けます。

交流及び共同学習に関わる学習では、外国語指導助手との交流をはじめ、高齢者施設や管内にある高等学校との交流を行います。また、日本最南端にある特別支援学校（沖縄県立八重山特別支援学校）とICT機器を活用した交流などに取り組んでいます。



作業学習（木工）



作業学習（縫工）



高等部フェスタ（製品販売）



委託作業（ペットボトル砂詰め）



勇知いも栽培



生徒会選挙

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|------------------|----|-------------|----------|----|
| 1 | 日常生活の指導・SHR・自立活動 | | | | |
| 2 | 数学 | 国語 | 数学 | 国語 | 数学 |
| 3 | 作業 | 作業 | 作業 | 美術 | 作業 |
| 4 | 作業 | 作業 | HR | 美術 | 作業 |
| 5 | 日常生活の指導（給食） | | | | |
| 6 | 保健 体育 | 音楽 | 日常 生活 | 保健 体育 | 音楽 |
| 7 | 日常生活の指導・SHR | | 日常生活の指導・SHR | | |

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

- 作業学習では、木工と縫工の縦割りによる2グループ編制で学習しています。
- 国語、数学、美術は学年を基本とした小グループ編制で学習しています。
- 音楽、保健体育は基本的に学部全員で学習しています。

- * 登校時間 8:35～ 8:45（月～金）
- * 下校時間 14:50～15:00（月・火・木・金）
14:00～14:10（水）

■教育課程の特徴

国語、数学などの各教科の学習や自立活動を中心に教育課程を編成し、知識や技能の習得、余暇の拡大を図る指導を行っています。また、作業学習や生活単元学習、総合的な探究の時間などで、これまで身に付けた知識や態度を実践する機会を設け、働く意味や喜びを知り、卒業後の社会生活をより充実したものにすることを目指しています。

- 教科の学習（国語、数学）
教科の学習を通して、社会生活に必要な「聞く・話す」「読む」「書く」力を身に付けたり、数量や単位の理解、金銭の扱いや時間の理解を深めたりします。指導に当たっては、少人数のグループを編制しています。
- 日常生活の指導
卒業後に自分の力を発揮し、自立した生活を送ることができるよう、日常生活に必要な動作や習慣を身に付け、高めることをねらいとしています。
- 自立活動の指導
教育課程全体を通じた指導の他、毎日1校時は、自分の苦手なことや困難を解決して、自分のできることを増やすために、一人一人の課題に応じた学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和6年度実績）

- 福祉的就労～6名【就労継続B型3名、生活介護3名】

学校Webページ

